



第4次アクションプラン 全国の農業高校の新戦略 グローバル・アグリカレッジ宣言Part II			自校のカレッジアクションプラン					
農業高校の ミッション (目指す学校像)	行動計画 (目指す学校像の具現化に向 けて)	キーワード	学科名	本年度重点取組	具体的方策(5W1H明記、数値目標奨励(年度末ABCDE評価の根拠))	SDGs 目標 NO.	評価 (ABC DE)	次年度の主な課題
農業高校 グローバル アグリカレッジ宣 言 ○○○○○ 地地地地グ 域域域域口 防交環社！ 災流境会力 をのを・ル 推拠守産教 進点り業育 すと創にで るな造寄人 学るす材 校学るすを 校学る育 校学て 校る学 学校	1	学生一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育	卒業研究	全体	発表会における討論の充実を図る。	卒業研究発表会における、学生の討論を7割目標に指導を行う。	4	
	2	世界と日本をつなぐグローバル教育	グローバル教育、国際交流	全体	講義の充実を図る。	講義、実験・実習における異国文化に触れる機会を各科1回/年、設定する。 中国語検定1級の全員合格を目標に継続指導を行う。	5・10 5・10	
	3	地域農業の生産を支える教育	生物生産、経営	生物生産科	卒業生講話でキャリア形成へ発展させる。	農業従事者や関連産業の卒業生講話を1回/年は設定し、個々のキャリア形成を行う。	8	
	4	地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育	HACCP	食品工学科	チェックリストの改善・実施する。	農場予算品目におけるHACCPのチェックリストを作成し、毎回学生に実施させる。	3・12	
	5	地域環境を守り、創造する教育	循環型農業、循環型社会	全体	専門分野の知識・技術の定着を図る。	未利用生物資源について知識の定着を図り、専門性を充実させる。	1・2・ 12・15	
	6	地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育	地域資源活用、特産物、地域交流、食農教育	全体	自彊研究の充実を図る。 学生の発信の場を図る。	農教研会誌の個人研究に毎年3研究は寄稿する。 実験・実習の内容を、オープンキャンパスや学園祭（展示、体験講座）等を通して全学生発信する。	4 4・10	
	7	Society5.0の時代に合った教育	ICTを用いた学習	全体	機器を活用した講義の充実を図る。	ICT機器や環境の整備と講義の充実を図る（前・後期/1回）。	4・10	
	8	地域防災を推進する教育	多面的機能	生物生産科	「グリーンリザルム演習」の充実を図る。	簡易かまどの演習を3回/年行い、自炊の技術・災害対応の向上を図る。	11	

※本プランは全国農業高等学校長協会「第4次アクションプラン」の規定により、各学校ホームページにて公表、年度末に福岡県教育委員会に報告します。また、福岡県農業教育研究大会誌にも毎年掲載(情報共有)します。

★作成・提出の流れ

①各学科は「行動計画1～8」のうち必ず1つ以上「本年度重点取組」「具体的方策」を記載する。②毎年度始めに「本年度重点取組」「具体的方策」を各学科全職員、次に農務部全職員で協議して作成し、4月30日までに校長会第1研究委員会事務担当者に提出及び各校のHPに掲載する。③毎年度末に「評価」「次年度の主な課題」を各学科全職員、次に農務部全職員で協議して作成し、2月10日までに校長会第1研究委員会事務担当者に提出及び各校のHPに掲載する。④令和8年10月から本取組についての検証を行い総括する。

★「評価ABCDE」の基準：A 90～100%の成果を得られた B 70～89%の成果を得られた C 40～69%の成果を得られた D 10～39%の成果を得られた E 0～9%の成果を得られた